甲府市立玉諸小学校　学校だより　Garden of learning　第７号

学びの庭

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り，
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

〒400-0814　山梨県甲府市上阿原町491番地　電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451　E-mail:tamamoro-e@kofu-ymn.ed.jp

創立 明治５年 １８７２年　令和４年（2022年）９月２８日　発行責任者　校長　山本英寿

全国学力・学習状況調査における本校の状況

本年度の「全国学力・学習状況調査」は、４月１９日に全国の小学６年生と中学３年生を対象に実施されました。小学校６年生については、国語・算数・理科の３教科で行われました。

この調査は、児童の学力や学習状況を把握し、その結果を分析することで、県や学校ごとの課題を明らかにすることにより、今後の指導の充実や授業改善等に役立てることを目的としています。調査内容は、①教科に関する調査、②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査で構成されています。そこで、今年度の調査結果を分析し、その取組についてまとめましたのでお知らせします。

１　学力調査の結果

本校の教科に関する調査の平均正答率は、国語については、全国・県平均を上回る結果となり、標準的な力が身に付いているといえます。算数・理科については、全国・県平均と同等の状況であり、概ね基礎基本の定着が見られます。また、国語・算数・理科における記述式の問題では、課題が見られました。今後も、学んだ知識技能を活用し、思考・判断・表現する能力を高めることが重要であると考えます。質問紙調査からは、自己肯定感、規範意識の高い児童が多く、やる気をもって学校生活を過ごしていること、家族や友達との関係が良好な児童が多く、安定した環境で生活できていることが読み取れました。また、地域行事や社会への関心が高いこと、全ての学習や家庭での学習にも意欲的に取り組んでいることがうかがえました。一方、ICT を利用した学習やテレビゲームの長時間使用などについては、課題が見られました。

令和４年度 全国学力・学習状況調査　教科別平均正答率（%）

	国　語	算　数	理　科
全　　国	６５．６	６３．２	６３．３
山　梨　県	６４	６２	６２
玉　諸　小	◎	○	○

◎：全国・県平均を上回っている
○：全国・県平均と同等
△：全国・県平均を下回っている

※ 平成２９年度から、県及び各学校等の平均正答率は整数値で発表されています。

２　各教科の状況より

教科に関する調査の内容は、次の①と②を一体的に問う問題が出題されています。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等についての問題

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容の問題

□　国語

〔正答率上位２問〕

◇【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する《設問１三：領域「話すこと・聞くこと」》

◇【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する《設問１一：領域「言語の特徴や使い方に関する事項」》

〔正答率下位２問〕

◆【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章２】のよさを書く《設問３二：領域「書くこと」》

◆「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、［　　］でどのように話すかを書く《設問１四：領域「話すこと・聞くこと」》

今後の取り組み

国語では、調査結果の分析を踏まえ、次のように取り組みます。

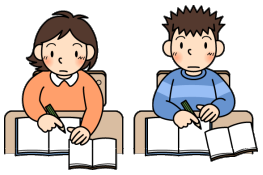
○「読むこと」→文章の中の重要な語や文に線を引いたり、色分けしたりして文章の内容を捉えさせる指導や文章の中心となるところを明らかにしてまとめたり、自分の考え等の理由を明らかにして書いたりする指導など、言葉に着目し言葉を大切にしたきめ細かい丁寧な指導を行っていきます。

○「書くこと」→今回、文章の構成や展開について感想や意見を伝え合うことを通して自分の文章のよさを見付けることが取り上げられた。自分の文章のよいところとして、『内容や記述などに見られる具体的なよさ』、『書こうとしたことの明確さ』、『文章全体の構成や展開の明確さ』などを見付けることができるように、系統的に指導を行っていきます。

○「話すこと・聞くこと」→話し合いにおいて、自分の考えをまとめていくときにはどうしたらよいのかについて、例えば、教師が作成したモデル文などを教材として、内容や分量、話し方などに着目できるようにするなど、指導の工夫を図っていきます。

○「言語の特徴や使い方に関する事項」→漢字の習得については、継続的な反復練習だけでなく、短文作りなど活用を意識した取り組みも行っていきたいと考えています。さらに、中学年のうちから日常的に、学習感想・スピーチメモ・板書のまとめのときなどにも、既習の漢字を使って書くことを意識させていきます。

国語科は、様々な事物、経験、思い、考えなどを、言葉を使って理解し、どのように表現するのかということを学ぶ教科です。つまり、言葉で考え、表現する能力を育成する教科であるといえます。今後もさらに言語活動（書く活動、発表する活動、話し合う活動等）の充実を図り、児童の国語力の向上を目指します。



□ 算数

〔正答率上位２問〕

◇１０５０×４を計算する《設問１（１）：領域「数と計算」》

◇長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く《設問４（２）：領域「図形」》

〔正答率下位２問〕

◆果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ《設問　２（３）：領域「変化と関係」》

◆８５×２１の答えが１４７０より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ《設問１（４）：領域「数と計算」》

今後の取り組み

算数では、調査結果の分析を踏まえ、次のように取り組みます。

○「数と計算」→日常生活において、数の大きさを見積もる必要があるときは、目的に応じて数を大きくみたり小さくみたりして、概算できるようにすることが重要になります。その際、切り上げ、切り捨て、四捨五入のどの方法が適切であるか、自分の考えを説明する場面などを設定し、目的に合った数の処理の仕方を考えることができるよう指導を工夫していきます。

○「図形」→辺の長さや角の大きさなどに着目して、図形の意味や性質を基に、作図の仕方を考えたり、筋道を立てて説明したりすることができるように指導の充実を図ります。

○「変化と関係」→割合、基準量、比較量の関係を捉えられるように、数量の関係を図や数直線等に表す学習活動を取り入れ、それらの図や式を用いて思考の過程を説明させたり、他の児童がかいた図や式等を解釈して説明させたりするなど指導を工夫していきます。

○「データの活用」→標題や単位、目盛りなど、グラフを正しく読ませ、グラフを見て考えたことを理由や根拠を挙げて説明させる活動を多く取り入れいきます。また、円グラフなど、グラフの意味の理解を深め、全体と部分、部分と部分の関係を捉える指導を工夫していきます。

算数科においても、言語活動の充実が重要だと考えます。国語科などで培われた言葉による表現とともに、数、式、図、表、グラフといった数学的な表現の方法を用いて考えたり、説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れていきます。

□ 理科

〔正答率上位２問〕
◇見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ《設問１（１)》: 領域「生命・地球」
◇冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ《設問４（１)》: 領域「生命・地球」
〔正答率下位２問〕
◆光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ
《設問　３（１)》: 領域「物質・エネルギー」
◆凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く
《設問２（４)》: 領域「物　質・エネルギー」

今後の取り組み

理科では、調査結果の分析を踏まえ、次のように取り組みます。
○「物質・エネルギー」→ 実験の目的を明確にして、「変える条件」と「変えない条件」を整理し、条件を考えながら児童が実験の計画を立てる活動を取り入れていきます。さらに、考察する場面では、予想と結果を照らし合わせ、根拠（理由）を基に意見交換や議論する活動を大切にしていきます。そして、自分や他者の気付きを基に、相違点や共通点を捉え、新たな問題を見いだしていくような場面を充実させます。
○「生命・地球」→目的に応じた観察器具の適切な操作方法を身に付け、観察において結果を図、表やグラフに整理したり、予想や仮説と関係付けながら考察を言語化し表現したりする活動を大切にしていきます。こうして、身の回りの自然に目を向けた問題解決のプロセスを大切にし、児童が実感を伴った理解を図れるよう指導を工夫していきます。
理科では、問題を発見→予想→観察・実験方法を考える→観察・実験をして→結果を整理する→考察するといった問題解決の過程を大切にしていきます。そこでは、さらに課題解決に向けて、見通しをもって思考を進めていく学習指導や観察・実験の結果、図や表から読み取ったことを言語化して、考察、説明する学習指導の充実を図っていきます。そして、観察、実験の結果を、自分や他者の気付きを基に分析して、解釈し、問題を見いだすことができるよう指導の充実を図ります。

3　生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査から

◇ 全国や県と比較し良好と思われる（大きく上回っている）項目

【豊かな人間性（自己肯定感、規範意識等）に関すること】
- 将来の夢や目標を持っている。　・　自分にはよいところがある。
- 人が困っているいるとき、進んで助けている。　・友達と協力するのは楽しい。
- 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの良さを生かして解決方法を決めている。

自己肯定感、規範意識の高い児童、ものごとを前向きにとらえ積極的に取り組む児童が多く、やる気を持って学校生活を送っていることがうかがえます。また、児童が教員の指導や児童への関わり方に対して肯定的にとらえている傾向が見られ、良好な人間関係を築くことができていると言えます。さらに、よりより学校生活を過ごすため、学級で協力し合って生活していることも見て取れます。これらのことが安心して学校生活を送る基盤となり、落ち着いた学習・生活態度に表れていると考えられます。

【基本的生活習慣・社会への関心等に関すること】
- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。

家族との関係、友達との関係も良好な児童も多く、安定した環境で生活を送ることができていることがうかがえます。これからもご家庭で温かく励まし、見守っていただきたいと思います。また、このコロナ禍の

中で、地域の行事等が実施できない状況が続いておりますが、今後も地域の行事への参加についての啓発活動を一層推進し、地域を誇りに思う心や地域とともに学習する基盤をしっかりと整えていきたいと考えています。

【授業、学習習慣に関すること】

・家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
・国語の勉強は、大切だと思う。　・算数の勉強は、大切だと思う。
・友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする。

宿題等に真面目に取り組み、自分で計画を立てて、家庭学習に積極的に取り組んでいる児童の割合が全国・県平均と比べて大きく上回っています。これからも「学年×１０分＋α」の家庭学習の定着をご家庭と連携しながら推進していきたいと考えています。学校においては、今後も甲府市教育委員会が推進している「甲府スタイル」を取り入れた授業づくりをはじめ、児童の学習意欲を喚起し、学習内容の活用を意識できる授業づくりに取り組んでいきます。

◆ 全国や県と比較し課題と思われる項目

【基本的な生活習慣に関すること】

・平日１日あたりのテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしている時間。

平日１日あたりのテレビゲームの時間が「２時間以上」と回答した割合は、全国平均（５０．２％）・県平均（５０．６％）を上回っています。近年、長時間のテレビゲーム等の使用により、基本的な生活習慣が乱れ、学習意欲、体力、気力の低下等の影響があることが指摘されています。更に、コロナ禍により、テレビゲームに触れる機会が多くなったように思われます。子供たちの健全な成長のために、今後も「早寝・早起き・朝ご飯」を基に、基本的な生活習慣の定着について各家庭と連携して推進していきます。

【授業に関すること】

・学習の中でのＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器の活用。
（調べる場面、友達と意見を交換する場面、自分の考えをまとめ発表する場面）

本校においてもＧＩＧＡスクール構想の展開により、ＩＣＴ活用の取り組みを進めています。今年度は、特にＩＣＴ機器を効果的な活用による学習指導法の改善について校内研究を行っています。今後、調べ学習、プレゼンテーション、思考の可視化、学習過程の記録、ドリル学習など、ＩＣＴ機器を活用した「わかりやすい授業」を実践していきます。

ご家庭の皆様へ

本年度の全国学力･学習状況調査の結果から、本校の児童が夢や希望を持って、友達とともに意欲的に学校生活・家庭生活を送っている様子が見て取れ、学習面・生活面ともに着実に成長していることが分かりました。これらは、ご家庭での教え、支えがあればこそのことです。特に、質問紙調査にある「平日に１時間以上家庭学習をしている児童」の割合も高く、家庭学習への積極的な取り組みが学力の定着、向上によい影響を与えていると考えられます。これも、ご家庭のご協力による成果だと思います。今後も本校では、子どもたちが自主的に学習に取り組むことができるよう積極的に働きかけを行っていきますので、ご家庭におきましても家庭学習の習慣が一層定着できますよう、「家庭学習のてびき」を参考にして学習環境を整え、声かけをしていただくなどのご協力をお願いします。一方、テレビゲーム等に費やす時間が長い傾向が見られます。家庭でのルールづくりなど、基本的な生活習慣を見直し、引き続き望ましい生活習慣が身に付けられるようご協力をお願いします。

激しい変化が予想されるこれからの時代に必要な、「自ら進んで学ぶ」気持ちや、「学ぶことが楽しい」と思える玉諸小児童を育んでいきたいと考えています。今後とも、より充実した教育活動を行っていくことができますよう、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校だよりのＨＰ版をご覧いただけます。